

事務事業評価シート

事務事業コード	010500	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	シルバー人材センター運営補助事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金交付要綱
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	シルバー人材センター運営補助金			予算事業コード	01-03-01-05-07-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(公社)鳥取市シルバー人材センター
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う(公社)鳥取市シルバー人材センターの経営の安定を図ることにより、就業による高齢者の積極的な社会参加と高齢者の生きがいづくりを創出し、もって活力ある高齢社会と雇用の創出に資する。
手段 (どうするのか)	運営及び事業に要する経費を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	運営及び事業に要する経費を補助する。	
年度別計画							
年度別実績		補助金交付 9,200千円	補助金交付 7,200千円	補助金交付 7,200千円	補助金交付 7,200千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,002	8,012	8,004	7,999	0	
	直接経費 A	9,280	7,280	7,280	7,280	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,280	7,280	7,280	7,280	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI]シルバー人材センター会員数	人	目標	748	757	764	770	0
				実績	749	786	771	742
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。H30KPI修正								
2	[KPI]シルバー人材センター受託事業受注件数	件	目標	0	0	5990	6050	6050
				実績	0	0	5703	5579
(指標の説明) 基準値はH29								
3	[KPI]シルバー人材センター派遣事業受注件数	件	目標	0	0	31	34	61
				実績	0	0	54	69
(指標の説明) 基準値はH29								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284
	【10次総の施策体系】2101
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P100(経001)
	【事業の概要】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う(公社)鳥取市シルバー人材センターの運営に要する経費を補助する。
	【事業の成果】

	会員数	就業率	受託・派遣事業総実績
平成29年度	786人	90.7%	283,424千円
平成30年度	771人	91.6%	287,661千円
令和元年度	742人	91.4%	301,456千円

【今後の課題・方向性】
(公社)鳥取市シルバー人材センターは、就業による高齢者の積極的な社会参加と生きがいづくりを創出し、活力ある高齢社会と雇用の創出に貢献する中核的な組織であり、地元企業の人材不足解消に向けても、引き続き支援を行っていく必要がある。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]シルバー人材センター会員数	100%	104%	101%	96%	
	2	[KPI]シルバー人材センター受託事業受注件数			95%	92%	
	3	[KPI]シルバー人材センター派遣事業受注件数			174%	203%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	引き続き支援を行っていく必要がある。自主事業の拡充等も促進し補助額の縮減に努める。		

事務事業評価シート

事務事業コード	010600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	高齢者活用・地域雇用サポート事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	公益社団法人鳥取市シルバー人材センター補助金交付要綱
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金			予算事業コード	01-03-01-05-07-17

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(公社)鳥取市シルバー人材センター
意図 (どのような状態にするために)	少子高齢化による生産年齢人口の減少と高齢者雇用の変化に伴い、派遣労働で対応することのできる高齢者労働力を確保し、人手が不足している業種の企業に派遣を増やすことで、高齢者の就業を拡大するとともに地元企業の人材不足に対応する。
手段 (どうするのか)	派遣事業に要する費用を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。	派遣事業の展開に要する費用を補助する。
年度別実績		補助金交付 3,800千円	補助金交付 5,800千円	補助金交付 7,209千円	補助金交付 7,209千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,522	7,264	8,658	8,647	0	
	直接経費 A	3,800	5,800	7,209	7,209	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,800	5,800	7,209	7,209	0		
人件費 B	722	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	派遣件数	件	目標	27
			実績	30	28	54	69	0
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P100(経002)</p> <p>【事業の概要】 国の「高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金」を受けて実施している高齢者の労働者派遣事業に対し、制度を有効に活用しながら、(公社)鳥取市シルバー人材センターの派遣事業の安定化を図り、地元企業の人材不足解消に資する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>派遣件数</td> <td>就業延人員</td> <td>派遣実績額</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>28件</td> <td>5,153人日</td> <td>20,635千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>54件</td> <td>6,328人日</td> <td>24,329千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>69件</td> <td>8,924人日</td> <td>42,527千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 労働者派遣法の改正により高齢者の派遣期間が緩和されたことを好機と捉え、少子高齢化による生産年齢人口の減少に対する対応策として、また、慢性化しつつある本市域の人手不足を解消するため、高齢者の派遣事業のさらなる強化を図っていく。</p>		派遣件数	就業延人員	派遣実績額	平成29年度	28件	5,153人日	20,635千円	平成30年度	54件	6,328人日	24,329千円	令和元年度	69件	8,924人日	42,527千円
		派遣件数	就業延人員	派遣実績額													
平成29年度	28件	5,153人日	20,635千円														
平成30年度	54件	6,328人日	24,329千円														
令和元年度	69件	8,924人日	42,527千円														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	派遣件数	111%	100%	174%	203%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 計画どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 事業未完了</p>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る</p>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>国の制度を活用し、少子高齢化による生産年齢人口の減少に対する対応と、慢性化しつつある本市域の人手不足を解消するため、派遣事業に携わる人員増が実施できるよう支援を行う。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	010700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	職業紹介事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	職業安定法
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	職業紹介事業費			予算事業コード	01-06-01-02-42-07

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	求職者
意図 (どのような状態 にするために)	本市のデータベースへ登録した求職者と求人企業とのマッチングを行い、求職者の就労支援を行う。
手段 (どうするのか)	雇用アドバイザーによる就職相談や求職者と求人企業のマッチング支援などにより、雇用機会の創出と市民の就労支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	平成29年度 求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	平成30年度 求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	令和元年度 求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	令和2年度 求職者と求人企業とのマッチングを行う。 ・無料職業紹介所 ・企業訪問	
	年度別実績	求職登録者数 558人 就職者数 522人 就職率 93.5%	求職登録者数 594人 就職者数 554人 就職率 93.3%	求職登録者数 610人 就職者数 569人 就職率 93.3%	求職登録者数 629人 就職者数 581人 就職率 92.4%		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,007	6,549	5,712	3,788	0	
	直接経費 A	2,119	2,371	2,217	2,350	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	4,888	4,178	3,495	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.30	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	就職者数	人	目標	525	550	575	600	625	
				実績	522	554	569	581	0	
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P110(経022)</p> <p>【事業の概要】 職業安定法に基づく職業紹介事業として、専任の雇用アドバイザーを配置した鳥取市無料職業紹介所を設置し、求職者に対する相談受付や職業紹介、企業訪問による求人開拓などを実施することで、求職者と求人者へのきめ細やかな支援を行い、雇用関係の成立を斡旋する。</p> <table border="1"> <tr> <td>【事業の成果】</td> <td>求職登録者数</td> <td>就職者数</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>36人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>16人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>19人</td> <td>12人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて、市役所本庁舎内に開設されている生活困窮者向けハローワークや、平成30年度より地域振興課に設置したUJターン者向け無料職業紹介所と連携をとりながら、取組を進めていく。</p>	【事業の成果】	求職登録者数	就職者数	平成29年度	36人	32人	平成30年度	16人	15人	令和元年度	19人	12人
【事業の成果】	求職登録者数	就職者数											
平成29年度	36人	32人											
平成30年度	16人	15人											
令和元年度	19人	12人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	就職者数	99%	101%	99%	97%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>生活困窮者向けハローワークが庁舎内に設置されている中で、UJターン者向け無料職業紹介所との連携を含めたあり方を検討していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	010800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	雇用対策事務委託事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市雇用促進協議会設置要 綱
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 実施の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	雇用促進協議会支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-42-12

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の高校生及び中小企業、鳥取市内の事業所に勤務している若手社員、中堅社員、採用担当者
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市の経済の発展並びに地元企業の人材確保及び雇用促進を図る。
手段 (どうするのか)	市内の雇用支援機関と連携を図るために設置された鳥取市雇用促進協議会に雇用促進のための事務を委託し、企業見学会、各種セミナーを開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 求職者支援事業 職場定着促進事業	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 求職者支援事業 職場定着促進事業	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 職場定着促進事業 人材確保促進事業	雇用の促進に関する事業実施 若者定着促進事業 職場定着促進事業 人材確保促進事業	雇用の促進に関する事業実施	
年度別実績	企業見学会(参加者356人:6校、見学企業19社(延べ28社)) PC&コミュニケーション研修(3回:36人) 若者職場定着促進事業(セミナー3回:90人)	企業見学会(参加者556人:7校、見学企業19社(延べ41社)) PC&コミュニケーション研修(2回:19人) 若者職場定着促進事業(セミナー3回:62人)	企業見学会(参加者716人:9校、見学企業29社(延べ56社)) 若者職場定着促進事業(セミナー2回:90人) 人材確保促進事業(セミナー1回:13人)	企業見学会(参加者476人:7校、見学企業25社(延べ35社)) 介護分野(参加者延べ8人、見学企業6社) 若者職場定着促進事業(5回:75人) 人材確保促進事業(セミナー1回:31人)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,039	8,637	8,135	1,685	0	
	直接経費 A	4,873	4,657	4,121	1,685	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	1,154	235	843	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,873	3,503	3,886	842	0		
人件費 B	4,166	3,980	4,014	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	1.00	0.90	0.90	0.80	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	事業参加者数	人	目標	410	650	0	0	0
				実績	482	637	0	0
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。H29目では以下の企業見学会とセミナー参加者を合わせた数字								
2	[KPI]参加者数(企業見学会)	人	目標	0	0	600	800	800
				実績	0	0	716	476
(指標の説明) H30の追加指標 基準値は平成28年度実績								
3	参加者数(セミナー)	人	目標	0	0	50	50	50
				実績	0	0	103	89
(指標の説明) H30の追加指標 基準値は平成28年度実績								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P111(経023)</p> <p>【事業の概要】 市内の雇用支援機関の連携を図るために設置した鳥取市雇用促進協議会の事業を支援することで、現在の課題である人材の安定確保に資する。 委託事業内容 若者の地元定着促進事業 若者の職場定着促進事業 人材確保促進事業</p> <p>【事業の成果】 令和元年度実績 高校生の企業見学会(参加者476人:7校、見学企業25社(延べ35社)) 介護分野企業見学会(参加者8人、見学企業6社) 若者の職場定着促進事業(全5回シリーズ・参加者58人) 人材確保促進事業(セミナー1回開催・参加者31人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて、若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上に向けた取組に加え、引き続き人手不足が顕著である介護分野への取組を進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	事業参加者数	118%	98%			
	2	[KPI]参加者数(企業見学会)			119%	60%	
	3	参加者数(セミナー)			206%	178%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2校の見学会を中止としたために年度目標を下回ったもの。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続いてきたが、先行き不透明感が強まっている。若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上など引き続き、労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて取組んでいく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	010900	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	伝統工芸等後継者育成支援事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	伝統工芸等後継者育成支援事業補助金交付要綱、伝統工芸等後継者育成支援事業実施要領
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	伝統工芸等後継者育成支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-46-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	研修従事者及び研修従事者を受け入れる伝統工芸事業者
意図 (どのような状態にするために)	伝統工芸が保存され活性化が図られる。
手段 (どうするのか)	後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援	伝統工芸の技術を伝承するための事業に対する支援
	年度別実績	補助金交付 活用件数: 研修者6名 受入先事業者5事業者	補助金交付 活用件数: 研修者1名 受入先事業者1事業者	補助金交付 活用件数: 0件	補助金交付 活用件数: 研修者3名 受入先事業者3事業者		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,350	2,340	1,086	4,932	0	
	直接経費 A	4,545	510	0	3,134	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,273	255	0	65	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,272	255	0	3,069	0	
人件費 B	1,805	1,830	1,086	1,798	0		
職員数の内訳	正規職員	0.25	0.25	0.15	0.25	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 後継者数	人	目標	4	6	8	10	17
				実績	6	6	6	7
(指標の説明) 令和元年度目標値は、H27-R1の累計値。								
2	年間研修従事者数	日	目標	180	180	180	180	180
				実績	420	90	0	271
(指標の説明) 研修従事者の年間研修従事者数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】2103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P113(経028) 6月補正・P16(経002)</p> <p>【事業の概要】 伝統工芸等後継者育成支援事業補助金 目的：伝統工芸等の技術を伝承するため、後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し助成を行い、伝統工芸の保存及び活性化を図る。 内容：後継者の受入事業者(3万円/月)と月に15日以上研修に従事する者(上限2万円/月)に対し助成する。また、県外から移住して研修を受ける従事者の家賃の一部を助成する。(上限3万円/月) 補助対象者：研修従事者を受け入れる伝統工芸事業者及び研修従事者</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 510千円 (和紙1件) 平成30年度 0千円 令和元年度 3,040千円 (和紙2件、陶磁器1件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 伝統工芸の後継者不足は深刻であり、解消に向けて、市が主体的に市内外へ研修従事者を募集するとともに、研修従事者への支援を行うことが必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]後継者数	150%	100%	75%	70%	
	2	年間研修従事日数	233%	50%		151%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	令和元年度においては当初1名の受入れを予定していたところ、3名の研修生を受入れた。うち1名は現在も研修継続中である。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	補助事業内容を見直したことで令和元年度においては研修生の受入れがあったものの、これまでの実績も影響して目標達成には至らなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	研修従事者不足は深刻であり、解消に向けて、事業の内容及び補助対象経費について、より実効性のある支援が必要である。		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			

事務事業評価シート

事務事業コード	011100	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	人材確保推進事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 目標の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	人材確保推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-42-35

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内外の学生及びUJターン者等、就職を希望する求職者、鳥取市内に主な事業所がある中小企業
意図 (どのような状態 にするために)	本市へ進出する企業が相次いでいる状況であるが市内の学生が県外へ流出している現状を踏まえ、企業PRや情報発信を行うことで、市内企業が求める人材を市内外から確保する。
手段 (どうするのか)	「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」に基づき、ハローワーク鳥取と連携した事業の実施、市内企業PRパンフレットの作成による企業情報の発信、企業の自社PR動画作成及び従業員の奨学金返済を支援する企業への補助金支援などにより、地元企業への就職を促進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 県外の合同企業説明会への出展 市内企業PR用パンフレット作成 移住希望者の就職相談等 県外大学の説明会に参加	平成29年度 県外の合同企業説明会への出展 市内企業PR用パンフレット作成 移住希望者の就職相談等 市内大学の食堂等にポップを設置 市内企業PR動画作成費への助成	平成30年度 県外の合同企業説明会への出展 市内企業PR用パンフレット作成 移住希望者の就職相談等 市内大学の食堂等にポップを設置 市内企業PR動画作成費への助成	令和元年度 市内企業と県外大学との情報交換会 企業PR/パンフレット作成 若手社員と高校生との交流会 企業PR動画作成費助成 従業員の奨学金返済支援を行う企業への助成 雇用対策協定に基づくハローワーク鳥取との連携	令和2年度 市内企業と県外大学との情報交換会 企業PR/パンフレット作成 移住希望者の就職相談等 企業PR動画作成費助成 従業員の奨学金返済支援を行う企業への助成 雇用対策協定に基づくハローワーク鳥取との連携	
	年度別実績	来場者数70名 97社掲載 就職者数32名 1回	【大阪】参加10社、ブース来場者135名 【岡山】参加5社、ブース来場者23名 110社掲載 UJ就職者数17名 参加企業31社、14ヵ所に7回設置 申請4件	【大阪】参加3社、ブース来場者21名 【岡山】参加3社、ブース来場者11名 194社掲載 UJ就職者数15名 参加企業29社、12ヵ所に8回設置 申請12件	参加企業17社、参加大学9校 164社掲載 若手社員7人、高校生14人 申請12件 申請2件 障がい者就職相談会、介護デイ		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,352	11,929	10,088	5,862	0	
	直接経費 A	8,186	8,071	6,261	2,267	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	3,709	2,840	797	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,186	4,362	3,421	1,470	0		
人件費 B	4,166	3,858	3,827	3,595	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	1.00	0.10	0.10	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		[KPI]説明会開催大学数	校	目標	3	4	30	30	30	
			実績	5	24	20	26	0		
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		[KPI]県外からの転入・就職者数	人	目標	22	33	44	85	90	
		実績	48	65	80	89	0			
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績。										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-30-8284</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P112(経025)</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定」に基づく、ハローワーク鳥取と連携、市内企業PRパンフレットの作成、企業の自社PR動画作成や従業員の奨学金返済を支援する企業に対する助成などにより、地元企業の人材確保を促進する。</p> <p>【事業の成果】 令和元年度実績 企業と学校関係者との就職情報交換会：参加企業17社、参加大学9校 市内企業PRパンフレット作成：市内企業164社掲載 若手社員と高校生との交流会：若手社員7人、高校生14人 地元企業就職PR動画作成助成：12件 奨学金返済支援事業補助金：2件 ハローワーク鳥取との連携事業：障がい者就職相談会、介護就職デイ</p> <p>【今後の課題・方向性】 更なる企業の魅力の発信及び市内企業の人材確保を推進するとともに、ハローワークとの連携の中で、ターゲットを明確にした事業を推進していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]説明会開催大学数	167%	600%	67%	87%	
	2	[KPI]県外からの転入・就職者数	218%	197%	182%	105%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>県やふるさと鳥取県定住機構等、関係団体と緊密に連携しながら、学生やU・J・エターナー者に対し効果的に市内企業のPRを行うとともに、鳥取労働局及びハローワーク鳥取と締結した雇用対策協定に基づき、市内での人材の掘り起こしやマッチング支援を推進する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	011300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	新技術研究開発事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課		

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市新技術研究開発事業補助金交付要綱
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	新技術研究開発事業費			予算事業コード	01-06-01-02-53-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に事業所を有する中小企業者
意図 (どのような状態にするために)	地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組を支援し、起業化や新たな事業設立を促進する。
手段 (どうするのか)	産学官連携や農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 新技術、新製品の開発を目的とした共同研究。産学官連携による起業化等の取組、農商工連携による取組に対する支援	平成29年度 新技術、新製品の開発を目的とした共同研究。産学官連携による起業化等の取組、農商工連携による取組に対する支援	平成30年度 新技術、新製品の開発を目的とした共同研究。産学官連携による起業化等の取組、農商工連携による取組に対する支援	令和元年度 新技術、新製品の開発を目的とした共同研究。産学官連携による起業化等の取組、農商工連携による取組に対する支援	令和2年度 新技術、新製品の開発を目的とした共同研究。産学官連携による起業化等の取組、農商工連携による取組に対する支援	
	年度別実績	活用事業者:1件	活用事業者:なし	活用事業者:1件	活用事業者:なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,722	732	2,000	719	600	
	直接経費 A	1,000	0	551	0	600	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,000	0	551	0	600		
人件費 B	722	732	1,449	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.20	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	実施した事業数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		(指標の説明)	件	目標	1	2	3	3	3
				実績	1	1	2	2	0
	2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0
	実績			0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域経済係 0857-30-8282</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P114(経029)</p> <p>【事業の概要】 産学官連携や農商工等異業種交流による新たな製品開発や新技術の実用化等を支援することにより地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組を支援し、起業化や新たな事業設立を促進する。 (1)新技術研究開発事業：市内中小企業者の産学共同研究による新技術実用化開発に要する経費を補助。 (2)農商工連携推進補助金：市内中小企業者の農商工連携による新商品開発等に要する経費を補助。 (3)産学官連携企業家推進支援事業：産学官連携により、本市での企業及び新たな事業設立をめざす中小企業者・個人等に対して、その取組を支援。 上記いずれの事業も、補助上限額100万円(補助率：2/3)</p> <p>【事業の成果】 平成29年度：0件 平成30年度：1件 令和元年度：0件</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市には、鳥取大学、公立鳥取環境大学の知の財産や鳥取県産業振興機構、産業技術センター等の産業支援機関が立地しているとともに、中小企業においては、産学官連携による新技術の開発、新製品の開発、高付加価値化等が求められており、引き続きその取組を支援する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	実施した事業数	100%	50%	67%	67%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	産学官連携による事業支援を実現できなかったため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	学術研究機関とも連携し、事業者の製品開発や実用化等を支援していく。また、支援事業の啓発も必要と考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新たな製品開発や新技術の実用化につなげていくため、学術研究機関と中小企業の連携を促進させる必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	011401	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	働き方改革推進事業		所属名	経済観光部	企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成29年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	働き方改革推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-43-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内企業
意図 (どのような状態にするために)	働き方改革の推進により、労働生産性の向上や人材の確保に繋げる。
手段 (どうするのか)	働き方改革推進アドバイザーの企業訪問により、経営戦略の観点で市内企業の実態と課題の掘り起し、対応策の助言や情報提供を行うとともに、中小企業経営者向けの働き方改革セミナー等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 企業向けセミナーの実施 ワーク・ライフ・バランスに取り組む市内企業の調査等を行う H28年度まで「ワーク・ライフ・バランス推進事業」として実施していたもの	平成29年度 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。 H29年度より「働き方改革推進事業」として実施	平成30年度 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	令和元年度 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	令和2年度 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問 企業向けセミナーの実施に取り組む。	
	年度別実績	平成29年1月18日に企業向けセミナーを実施。 ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の事例を調査し、それらを紹介したパンフレットを作製。	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問:28社 中小企業経営者向け働き方改革セミナーを実施。参加者は75人(58企業)	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問:186社 中小企業経営者向け働き方改革セミナーを実施。参加者は83人(58団体)	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問:341社 中小企業経営者向け働き方改革セミナーを実施。参加者は23人(21団体)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	14,393	8,338	8,483	8,779	0	
	直接経費 A	8,783	2,696	2,815	3,161	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,682	0	0	1,576	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,101	2,696	2,815	1,585	0		
人件費 B	5,610	5,642	5,668	5,618	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		(KPI)参加事業所数	社	目標	50	50	60	60	60
			実績	45	58	58	21	0	
	2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】2101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P112(経026)</p> <p>【事業の概要】 地元企業の生産性の向上や人材確保に繋げるため、働き方改革推進アドバイザー1名を配置し、企業訪問により、経営戦略の観点で企業の実態と課題の掘り起こしを行うとともに、的確な窓口へのつなぎや支援制度の紹介等を行った。 また、ハローワーク鳥取における応募率が低調な業種について、中小企業経営者向け業種別働き方改革セミナーを開催した。 さらに新規事業として、市内企業の人手不足解消と多様な働き方を実現することを目的にクラウドソーシングセミナーを開催した。</p> <p>【事業の成果】 働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問(341社) 中小企業経営者向け業種別働き方改革セミナーの開催 宿泊・飲食サービス・生活関連サービス業向け 参加者7人(7団体) 建設業向け参加者16人(14団体) クラウドソーシングセミナーの開催 事業者向け 参加者13人 ワーカー(個人)向け 参加者27人</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も地元企業の労働生産性の向上や人材確保に繋げるため、企業の実態と課題を掘り起こし、企業の抱える課題に対しアドバイスなど支援を行っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 参加事業所数	90%	116%	97%	35%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	働き方改革推進アドバイザーによる企業訪問を通して、各種助成金や先進的な取組事例の紹介を行った。また中小企業経営者向けの業種別働き方改革セミナーを開催した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	セミナー内容について、参加者より一定の評価がある一方、参加事業所数が少なく、セミナーの周知方法等について改善を検討していく。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も地元企業の労働生産性の向上や人材確保に繋げるため、企業の実態と課題を掘り起こし、企業の抱える課題に対しアドバイスなど支援を行っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	011500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	雇用維持・創出支援事業		所属名	経済観光部	企業立地・支援課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創出数		1,000人	5,000人	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	雇用維持・創出支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-17-11

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金の交付対象企業の指定を受けている者かつ、市長から雇用計画の認定を受けた者 液晶関連の事業を営む者・工場等から排出する汚水の量が日量1,000立方メートル以上かつ、500人以上の常用雇用者を有する者
意図 (どのような状態にするために)	情報通信関連企業による雇用創出促進による産業構造の多様化 本市において最大級の雇用規模を持つ液晶関連産業の雇用維持
手段 (どうするのか)	それぞれ補助要件をみたす企業に助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		大量雇用創出補助金の交付 液晶産業雇用支援補助金の交付	大量雇用創出補助金の交付 液晶産業雇用支援補助金の交付	大量雇用創出補助金の交付 液晶産業雇用支援補助金の交付	大量雇用創出補助金の交付 液晶産業雇用支援補助金の交付	大量雇用創出補助金の交付 液晶産業雇用支援補助金の交付	
年度別実績		大量雇用創出補助金交付実績 2社 6件 液晶産業雇用支援補助金交付実績 1社 1件	大量雇用創出補助金交付実績 2社 4件 液晶産業雇用支援補助金交付実績 1社 1件	大量雇用創出補助金交付実績 1社 3件 液晶産業雇用支援補助金交付実績 1社 1件	大量雇用創出補助金交付実績 2社 4件 液晶産業雇用支援補助金交付実績 0社 0件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	115,472	134,818	139,324	9,119	0	
	直接経費 A	114,750	134,086	138,600	8,400	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	114,750	134,086	138,600	8,400	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	大量雇用創出補助金交付企業における1社当たりの新規雇用者数	人	目標	20	20	20	20	0
				実績	27	35	29	21
2	(指標の説明) 単年度における補助対象企業による1社当たりの新規雇用者数 液晶産業雇用支援補助金交付企業の雇用者数	人	目標	500	500	500	500	500
				実績	576	579	560	0
3	(指標の説明) 補助対象企業に在籍する市内在住の常用雇用者数		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225</p> <p>【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P120(経042)</p> <p>【事業の概要】 市内企業の雇用維持、創出を促進し、地域経済の発展を図る。 鳥取市大量雇用創出補助金 鳥取市液晶産業雇用支援補助金</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>大量雇用創出補助金</td> <td>液晶産業雇用支援補助金</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 2社</td> <td>平成29年度 1社</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 1社</td> <td>平成30年度 1社</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 2社</td> <td>令和元年度 0社</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 雇用情勢の変化により、補助要件の達成が困難になっていることから補助対象企業数が年々減っている。事業の見直しやあり方についての検討を引き続き行う。 補助対象企業が限定されており、目的達成のための手段として本事業の形が本市にとって最善なのか関係課とともに検討を進めていく必要がある。</p>	大量雇用創出補助金	液晶産業雇用支援補助金	平成29年度 2社	平成29年度 1社	平成30年度 1社	平成30年度 1社	令和元年度 2社	令和元年度 0社
大量雇用創出補助金	液晶産業雇用支援補助金								
平成29年度 2社	平成29年度 1社								
平成30年度 1社	平成30年度 1社								
令和元年度 2社	令和元年度 0社								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	大量雇用創出補助金交付企業における1社当たりの新規雇用者数	135%	175%	145%	105%	
	2	液晶産業雇用支援補助金交付企業の雇用者数	115%	116%	112%	0%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>補助対象企業として指定した企業の交付要件達成により、雇用増をもたらすことができた。交付要件を満たさず交付することができなかった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標値を上回る1社あたり21人の雇用を創造できた。交付要件を満たさず交付することができなかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業は慢性的に不足している事務系の雇用の場を確保・創出するために作られたものであり、コロナ禍でオフィスの地方分散の動きが出てくる中で今後も必要に応じて制度の見直しを行いながら、事務系職種の立地に注力していく。液晶産業雇用支援補助金については、地元最大規模の事業所の事業再編から雇用を守るために創設された制度だが、下水道料金の変動に合わせて必要予算も変動するため、目的達成手段として本事業が最善であるか検討が必要。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	011600	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館における若者のまちづくり事業		所属名	市民生活部 協働推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	公民館における若者のまちづくり事業実施要項
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若者(大学生等)及び地域(まちづくり協議会)
意図 (どのような状態にするために)	(1) 公民館活動等へ若者が参画することによるつながりづくり (2) 若者の発想を活かした地域の活性化や魅力の創造 (3) まちづくりに積極的に参画する人材を育成する
手段 (どうするのか)	若者に公民館で行われている公民館活動やまちづくり事業に企画段階から関わってもらい、地域住民とともに地域の課題解決や活性化に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	各地区公民館にインターンシップ受入可能照会募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れ、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間、10館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れ、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れ、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れ、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集	公民館事業に参画する学生をアルバイトとして受け入れ、まちづくりに参画する人材を育成する。 年間5館程度を募集
		5地区公民館から受入回答職員課を通して受入募集 大学生等の希望なし	18人 2館	19人 4館	15人 3館		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	722	732	724	719	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 地区公民館等のインターンシップ受入数	人	目標	3	5	0	0	0
				実績	0	18	0	0
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績								
2	[KPI] 地区公民館等のまちづくり事業に参加する大学生等の受入数	人	目標	0	0	10	10	10
				実績	0	0	19	15
(指標の説明) H30からの追加指標								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地区公民館係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】当初予算(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 地域社会の担い手となる若者(大学生等)が、地区公民館事業などに参画(日々雇用)することで、まちづくりに積極的に参画する人材育成を図ることを目的とするとともに、地域のまちづくりの活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 2館 18人 平成30年度 4館 19人 令和元年度 3館 15人</p> <p>【今後の課題・方向性】 地区公民館、鳥取大学や公立環境大学と連携しながら、若者(大学生等)がまちづくり活動や地域貢献活動に気軽に参画できるよう継続して取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]地区公民館等のインターンシップ受入数		360%			
	2	[KPI]地区公民館等のまちづくり事業に参加する大学生等の受入数			190%	150%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地区公民館、鳥取大学や公立鳥取環境大学と連携しながら、若者(大学生等)がまちづくりや地域貢献活動に気軽に参画することで地域を担う人材を育成するとともに、地域の活性化につながるよう継続して取り組む。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035700	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	国際経済交流推進事業		所属名	経済観光部	経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	国際経済交流推進事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-20

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	海外でのビジネスを検討している市内企業・事業者及び経済観光団体
意図 (どのような状態 にするために)	環日本海地域ほか海外における貿易振興、観光客誘致
手段 (どうするのか)	貿易に関する相談窓口等サポート、貿易支援機関から収集した情報提供、海外への商談会・フェアへの出展、外国人留学生地域就労支援事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			環日本海諸国との経済交流の推進	環日本海諸国との経済交流の推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターンシップの推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターンシップの推進	環日本海諸国との経済交流の推進 留学生インターンシップの推進
	年度別実績	交流事業 ・中国延吉図們江地域国際投資貿易フェア出展 ・環日本海拠点都市会議(韓国東海市)出展PR事業 ・延辺朝鮮族自治州交流職員研修受入 ・食品輸出「入門」セミナー など	交流事業 ・中国延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団受入 ・延辺朝鮮族自治州との文化芸術経済交流 ・第22回北前船寄港地フォーラムin鳥取 ・外国人材活用による地域経済活性化セミナーなど	交流事業 環日本海拠点都市会議(中国琿春市)出展 延吉図們江地域投資貿易フェアに経済訪問団(民間4社含む)派遣 ・延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団を受入 留学生インターンシップの実施	交流事業 環日本海拠点都市会議(米子市)出展、ベトナムハノイ市に市経済視察団派遣(企業11社含む)、中国延辺朝鮮族自治州行政訪問団を受入 留学生インターンシップの実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,950	14,113	15,371	18,832	17,875	
	直接経費 A	14,784	11,917	13,198	16,675	17,875	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	1,528	920
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1,600	0	0
一般財源	14,784	11,917	11,598	15,147	16,955		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	マッチング支援件数	件	目標	80
			実績	92	48	174	169	0
	(指標の説明) 基準値:平成26年度実績(企業訪問・企業相談件数)							
2	外国人留学生のインターンシップ参加者数	人	目標	0	0	10	10	10
			実績	0	0	4	13	0
	(指標の説明) 基準値:インターンシップに先立ち行われるセミナー参加上限数の50%							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】市場開拓係 0857-30-8283 【10次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106(経013) 9月補正・P11(経002)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターで、地元企業の貿易相談、経済・観光講習会の実施、翻訳・通訳業務、海外企業とのマッチング、国際観光支援、市民交流等を行う。 令和元年度に、ベトナム友好団体連合と覚書を締結。同年10月に市内経済団体・企業を中心とした経済視察団を派遣し、連携を強化。 留学生インターンシップを展開し、地域就労留学生を増加させることで地元企業のさらなる海外展開とインバウンド需要取込を支援し、本市の経済発展を推進。</p> <p>【事業の成果】 1. 環日本海経済交流センターでの貿易相談等(161件)・企業訪問(8件) 翻訳・通訳業務(121件)等の実施。 2. 環日本海拠点都市会議(米子市)に鳥取市広報館出展・PR事業(10月) 3. ベトナムハノイ市に経済視察団(企業11社、商工団体、市)を派遣(10月) 4. 中国延辺朝鮮族自治州経済貿易代表団受入(1月) 5. 留学生地域就労支援事業</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> <td style="text-align: center;">令和元年度</td> </tr> <tr> <td>(参加留学生)</td> <td style="text-align: center;">4名</td> <td style="text-align: center;">13名</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 スタッフの育成と海外での積極的な渉外を行い、市内中小企業の海外展開を積極的に支援する。留学生の地域就労を促進するため、インターンシップを実施し、県外留学生も含めて地域への取込みを行う。</p>		平成30年度	令和元年度	(参加留学生)	4名	13名
	平成30年度	令和元年度					
(参加留学生)	4名	13名					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	マッチング支援件数	115%	60%	218%	211%	
	2	外国人留学生のインターンシップ参加者数			40%	130%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>スタッフの育成と海外での積極的な渉外を行い、市内中小企業の海外展開を積極的に支援する。留学生の地域就労を促進するため、インターンシップを実施し、県外留学生も含めて地域への取込みを行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	035800	重点施策	しごとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	中小企業中核人材育成支援事業		所属名	経済観光部	企業立地・支援課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	新しいにぎわいのあるまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	01	地域経済の再生と産業の底上げ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市中小企業中核人材育成支援事業補助金交付要綱
施策	2101	雇用の創造・人材の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	正規雇用の創造数		1,000人	5,000人		
			0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中小企業中核人材育成支援事業費			予算事業コード	01-06-01-02-41-57

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内に本店又は支店が所在する中小企業者等
意図 (どのような状態にするために)	経営の中核を担う業務に必要な技術、技能又は知識の習得を図るために研修制度を利用した場合、その経費の一部を補助することにより、市内企業の安定、成長を後押しする。
手段 (どうするのか)	経営戦略の構築や経営の改善を担う人材に研修を受講させる企業に対する補助 ・補助率：4/5 (サテライトゼミ 9/10) ・補助の上限：1事業所当たり上限100千円 (サテライトゼミ 上限30千円) 同一事業所への補助は2箇年に限り、2年目については上限を50千円とする。(サテライトゼミ 15千円)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績			中核人材に研修を受講させる企業に対する補助	中核人材に研修を受講させる企業に対する補助	中核人材に研修を受講させる企業に対する補助	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	956	965	0	
	直接経費 A	0	0	232	246	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	123	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	232	123	0		
人件費 B	0	0	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		(KPI) サテライトゼミ参加希望者数	人	目標	0	0	15	60	0	
			実績	0	0	9	18	0		
	(指標の説明) 目標値は2か年累計: H30 ~ R1									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企業支援係 0857-20-3223</p> <p>【10次総の施策体系】2103</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P109(経019)</p> <p>【事業の概要】 補助対象：市内に本店又は支店が所在する事業者 補助対象経費：独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置する全国9か所の中小企業大学校で開講する中小企業向け研修及び本市で開催する中小企業大学校サテライトゼミの受講料 補助率：4/5(サテライトゼミは9/10) 補助の上限：1事業所当たり上限100千円(サテライトゼミは上限30千円) 3箇年限定の事業とし、同一事業所への補助は2箇年に限り、2年目については上限を50千円とする(サテライトゼミは15千円)。同一人物の活用は年1講座まで。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 補助件数12件(大学での受講：3件 サテライトゼミ受講：9件) 令和元年度 補助件数11件(大学での受講：2件 サテライトゼミ受講：9件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本制度の周知を図り、事業者の活用を促すとともに、サテライトゼミの開催に当たり、市内事業者のニーズを把握し、効果的なサテライトゼミの企画を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI] サテライトゼミ参加希望者数			60%	30%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	本市で3月開催予定だったサテライトゼミが新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となり、受講者を増加させることができなかった。また、支援制度を活用せず中小企業大学校の研修に受講しているケースも散見される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本制度の周知を図り、事業者の活用を促すとともに、サテライトゼミの開催に当たり、市内事業者のニーズを把握し、効果的なサテライトゼミの企画を進めていく。</p>	